

第71回優良公民館表彰について

文部科学省では、公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していると認められるものを優良公民館として表彰しております。この度、第71回優良公民館表彰について決定しましたので、お知らせします。

1. 表彰館 別海町中央公民館 外64館

2. 表彰式

(日 時) 平成30年11月2日(金) 13時30分～13時50分

(場 所) 日本青年館ホール(東京都新宿区霞ヶ丘町4-1)

3. 選考の経過等

都道府県教育委員会から推薦のあった公民館や公民館と同等の社会教育活動を行う施設について、優良公民館審査委員会で審査の上、表彰館とそこから特に優れた活動を行った5館を「優秀館」として文部科学大臣が決定しました。

さらに、表彰式当日、「優秀館」5館の中から「最優秀館」1館を選定するため、表彰式会場において、5館が活動内容のプレゼンテーションを実施し、上記審査委員会による審査を行った結果、広島市古田公民館が「最優秀館」の榮譽に輝きました。

【最優秀館】

広島市古田公民館(広島県)

【優秀館】

越前市岡本公民館(福井県)

福井市清水西公民館(福井県)

倉吉市上北条公民館(鳥取県)

廿日市市串戸市民センター(広島県)

第71回優良公民館表彰 表彰館一覧

No.	都道府県名	ふりがな 公民館名	No.	都道府県名	ふりがな 公民館名
1	北海道	べつかいちようちゆうあうこうみんかん 別海町中央公民館	34	岐阜県	みずなみしかまどこうみんかん 瑞浪市釜戸公民館
2	北海道	りりりふじちようりつおにわきこうみんかん 利尻富士町立鬼脇公民館	35	岐阜県	たじみしこいずみこうみんかん 多治見市小泉公民館
3	北海道	うらほろちようかみうらほろこうみんかん 浦幌町上浦幌公民館	36	静岡県	いわたしたはらこうりゅうせんたー 磐田市田原交流センター
4	青森県	さいむらやごしちくこうみんかん 佐井村矢越地区公民館	37	愛知県	こうたちゆうちゆうあうこうみんかん 幸田町中央公民館
5	岩手県	しわちようふるだてこうみんかん 紫波町古館公民館	38	愛知県	あいさいしざおりこうみんかん 愛西市佐織公民館
6	岩手県	かねがききょうせいびちくこうみんかん 金ヶ崎町西部地区公民館	39	滋賀県	おまつりつしまのきたこうみんかん 大津市立真野北公民館
7	岩手県	くじしむらいはましみんせんたー 久慈市侍浜市民センター	40	京都府	あやべしものべこうみんかん 綾部市物部公民館
8	宮城県	けせんぬましりつからくわこうみんかん 気仙沼市立唐桑公民館	41	京都府	きょうたんじくわおみやちいせこうみんかん 京丹後市大宮地域公民館
9	宮城県	かみまちみやざきしょうがいがくしゅうせんたー 加美町宮崎生涯学習センター	42	兵庫県	かがわしりつひらおこうみんかん 加古川市立平岡公民館
10	秋田県	ゆりほんじょういしわきこうみんかん 由利本荘市岩城公民館	43	奈良県	ならしりつけいせいこうみんかん 奈良市立京西公民館
11	秋田県	かつのしとわだしみんせんたー 鹿角市十和田市民センター	44	鳥取県	くらししかみほうじょうこうみんかん 倉吉市上北条公民館
12	山形県	てんどうしりつやまぐちこうみんかん 天童市立山口公民館	45	鳥取県	とっとりしりつきゅうしょうちくこうみんかん 鳥取市立久松地区公民館
13	福島県	ふくしましずぎのめがくしゅうせんたー 福島市杉妻学習センター	46	島根県	はまだしりつこくふこうみんかん 浜田市立国府公民館
14	福島県	こおりやましりつしばみやちいきこうみんかん 郡山市立柴宮地域公民館	47	島根県	まつえしやつかこうみんかん 松江市八束公民館
15	茨城県	みとしことぶきしみんせんたー 水戸市寿市民センター	48	岡山県	はやしまちようちゆうあうこうみんかん 早島町中央公民館
16	群馬県	みどりしかさけこうみんかん みどり市笠懸公民館	49	岡山県	おかやましりつみつこうみんかん 岡山市立御津公民館
17	群馬県	しょうわむらこうみんかん 昭和村公民館	50	広島県	ひろしましふるたこうみんかん 広島市古田公民館
18	埼玉県	さいたましりつうちこうみんかん さいたま市立内野公民館	51	広島県	おのみちむかひびがしこうみんかん 尾道市向東公民館
19	埼玉県	わらびしりつきたまちこうみんかん 蕨市立北町公民館	52	広島県	はつかいちしきしじみんせんたー 廿日市市串戸市民センター
20	埼玉県	ふかやしわかもとこうみんかん 深谷市川本公民館	53	山口県	はぎしあきざきこうみんかん 萩市明木公民館
21	千葉県	きみつこいこうみんかん 君津市小糸公民館	54	山口県	やないしおぼたけこうみんかん 柳井市大畠公民館
22	千葉県	いちほらしりつやわたこうみんかん 市原市立八幡公民館	55	山口県	しゅうなんしたかみずしみんせんたー 周南市高水市民センター
23	神奈川県	ひらつかしりつすかこうみんかん 平塚市立須賀公民館	56	徳島県	あなんしりつなかがわこうみんかん 阿南市立那賀川公民館
24	神奈川県	かわさきしなはらしみんかん 川崎市中原市民館	57	愛媛県	やわたはましりつかわかみちこうみんかん 八幡浜市立川上地区公民館
25	新潟県	にいがたしこぼりあおやまこうみんかん 新潟市小針青山公民館	58	愛媛県	にいほましりつふなきこうみんかん 新居浜市立船木公民館
26	新潟県	せきかわむらこうみんかん 関川村公民館	59	福岡県	あさくらしたていしこみゆにていせんたー 朝倉市立石コミュニティセンター
27	富山県	うおづしかづみこうみんかん 魚津市加積公民館	60	佐賀県	さがしりつかいせいこうみんかん 佐賀市立開成公民館
28	富山県	なんとしみなみやまだこうみんかん 南砺市南山田公民館	61	大分県	うさこうみんかん 宇佐公民館
29	石川県	はくさんしりつみなとこうみんかん 白山市立湊公民館	62	宮崎県	みやこのじょうしなごうちくこうみんかん 都城市中郷地区公民館
30	石川県	のとちようりつさんなみこうみんかん 能登町立三波公民館	63	鹿児島県	きりしましはやとまつながちくこうみんかん 霧島市隼人松永地区公民館
31	福井県	えちぜんしあかもとこうみんかん 越前市岡本公民館	64	鹿児島県	あくねしちゆうあうこうみんかん 阿久根市中央公民館
32	福井県	ふくいししみずにしこうみんかん 福井市清水西公民館	65	鹿児島県	かのやしにしはらちくがくしゅうせんたー 鹿屋市西原地区学習センター
33	長野県	ながのしりついいいこうみんかん 長野市立芋井公民館			

…公民館
 …公民館と同等の施設
 …最優秀館
 …優秀館

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
1	北海道	べつかいちようちゅうおうこうみんかん 別海町中央公民館	別海町中央公民館は、住民が生涯のあらゆる時期に学ぶことができ、その学習の成果が適切に評価されるような生涯学習社会を築くために、生涯学習の中心施設としての役割を認識し、住民の自主的な学習活動の手助けができるように地域課題に応じた取組を行っている。 とりわけ、別海町生涯学習体系「学びの木」に基づき、乳幼児期から高齢期まで世代別に多岐にわたる事業を実施しており、地域住民が楽しく集い、語り、交流する場と機会の提供に努めている。 また、現在、別海町生涯教育研究所と連携して、別海町中央公民館機能を包含した別海町生涯学習センター設立に向け、更なる積極的な事業展開に努めている。
2	北海道	りしりふじちようりつおにわきこうみんかん 利尻富士町立鬼脇公民館	利尻富士町立鬼脇公民館は、町内最初の社会教育施設として建設され、地域住民が集い様々な学習をし、教養を身に付ける場として、長きにわたり親しまれてきている。 また、社会教育活動を実践する施設として、集会室や和室、図書室、調理室等を備えており、館外の広場はフリースペースとして子供たちの遊び場やお祭り、イベントの場として活用されている。特に、人口減少と高齢化問題を踏まえ、住民との結び付きを大切に、事業やイベントの担い手を見い出しながら地域の活性化と生涯学習の推進に努めている。 近年では、放課後子供教室や南浜獅子神楽の伝承活動等、地域課題に応じた取組が行われており、地域の活性化に寄与している。
3	北海道	うらほろちようかみうらほろこうみんかん 浦幌町上浦幌公民館	浦幌町上浦幌公民館は昭和49年9月、地域住民や公民館設置促進期成会の強い要望を受け、公民館と消防会館を併設した多目的な総合文化防災施設として開館した。開館と同時に、公民館主事の配置や15名の公民館運営審議会委員を委嘱し、地域の教育、学術、文化等に関する各種事業を展開している。62年からは、専任の公民館長を委嘱し、地域の拠点施設として、活動の充実を図っている。 また、実行委員会を組織して昭和51年から開催している「公民館まつり」は42回を数えるほか、高齢者を対象とした「寿大学」や3泊4日で実施している「通楽(学)合宿」、放課後学習を継続して実施している。 特に、平成27年度から導入したコミュニティ・スクールでは、公民館長がアドバイザーとなり地域の教育力向上の役割を担っている。
4	青森県	さいむらやごしちくこうみんかん 佐井村矢越地区公民館	矢越地区公民館では、地区住民の交流及び健康増進を狙いとして平成元年にスタートした「地域交流グランドゴルフ大会」を現在まで継続して実施しており、大会の運営や競技、懇親会などを通して住民同士の交流が進められてきた。その中から、活動を休止していた「矢越青年団」が活動を再開することとなった。また、若者を中心として、「矢越芸能保存会」を立ち上げ、消滅の危機にあった全国的にも珍しい漁村歌舞伎「矢越歌舞伎」を復活させた。公民館では「郷土芸能伝承教室」を開設し、「矢越歌舞伎」および「矢越神楽」、子供たちを対象とした「矢越鮎大謀綱囃子」伝承教室、しめ縄づくり教室を実施するなど、公民館が矢越地区の伝統文化の継承・保存に向けた中心的存在となっている。さらに、このような活動を通して、老人クラブ(水蓮クラブ)も活動を再開するなど、世代を超えて地域が一つにまとまる上で、地区公民館が極めて重要な役割を果たしている。人口減少が進む中、佐井村の矢越地区では、公民館活動が地域の活力維持に大きく寄与している。
5	岩手県	しわちようふるだてこうみんかん 紫波町古館公民館	紫波町の北部にある古館地区は、住宅地の周りに田園や果樹園が広がり、高水寺城跡(城山公園)や陣ヶ岡陣営跡等歴史名所が残る自然豊かな地域である。交通の便が大変良いことから、移転者が多く集まってきた地域でもある。現在、古館地区約3,200世帯の中心施設として、各種講座や教室等の生涯学習の場として、また各団体の活動拠点として広く利用されている。近年は、防災や社会福祉、子育て、地域づくり等の課題の解決に向け、ワークショップを取り入れた学習を展開しており、小中高生から高齢者まで、様々な世代の人が参画し、つながりが形成されてきている。地域課題の解決に主体的に取り組もうとする人材が、公民館事業を通じて活躍し育ってきており、地域の教育力の向上に資する古館公民館の実践は「知の循環型社会」の先進事例とも言える取組である。
6	岩手県	かねがさきちようせいぶちくこうみんかん 金ケ崎町西部地区公民館	金ケ崎町は昭和54年に「生涯教育の町宣言」をし、平成29年度に38年を迎えた。「まちづくりは人づくり」の基本理念のもと、各地区公民館がまちづくりの中核を担い、地域の特性を生かしながら、様々な学習機会を提供している。特に西部地区公民館は、地域住民のニーズを的確に把握し、住民自ら学びたいと思う多種多様な事業を企画し、公民館の大切な理念である「つどい・まなぶ・むすぶ」を実践している。地区民運動会と隔年で開催している「西部まつり」には地区人口の約4分の3にあたる850人も参加があった。地元企業や各種関係団体と連携を図りながら地域一体となって開催されるこのまつりは、地域の絆(きずな)をより一層深め、地域活性化に大きく寄与している。
7	岩手県	くじさむらいはましんせんたー 久慈市侍浜市民センター	久慈市侍浜町は、人口2,400人、世帯数は1,010で、豊かな自然が広がる地域である。侍浜市民センターは、地域住民が学び、交流する貴重な場であるとともに、地域づくり活動の拠点としても大きな役割を果たしている。主催事業として多くの学習や体験機会を提供する一方、地域の関係団体との連携した活動にも取り組んでいる。平成29年度、センターと連携し活動している老人クラブが、全国老人クラブ連合会特別賞を受賞し、また地域団体と連携した地域振興策として「侍(SAMURAI)ブランド」創成プロジェクトに取り組んでおり、地域の資源を最大限に生かし、地域の内外の人が訪れ、侍浜の魅力に触れてもらいながら、子供から高齢者まで一緒に活動する取組とするなど、参加者獲得や交流を広げるための事業運営を活発に展開している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
8	宮城県	けせんぬましりつからくこうみんかん 気仙沼市立唐桑公民館	本公民館は、平成元年度から約30年間にわたり、地域資源(自然環境、産業、人材等)を教材として、学校教育と社会教育の融合・連携により地域の子供を育む「ふるさと学習会」を継続して行っている。 平成18年には、市町合併による事業の見直しが行われたが、事業の教育的効果が認められ予算化し、23年の東日本大震災後も内容を精選し、改善を図りながら事業を継続している。本事業の「牡蠣養殖」の協働実践校である唐桑小学校が、第7回ESD大賞においてユネスコスクール最優秀賞を受賞している。 現在、上記取組に加え、まちづくり協議会をはじめとする様々な団体や、Iターン移住者等と連携して新たなネットワークを作りながら、地域コミュニティの再構築を目指し、事業を展開している。
9	宮城県	かみまちみやざきしょうがいがくしゅうせんたー 加美町宮崎生涯学習センター	本生涯学習センターは平成21年に旧宮崎公民館から名称を改め、町民の学習意欲を高め、連帯感を育み、健康で文化的な生活の向上と地域社会の発展に資することを目的として活動を行っている。また、生涯学習とまちづくりの拠点として、住民の生活上の課題解決や安心して暮らせるまちづくりを目指すとともに、協働教育の推進にも力を入れており、地域人材を生かした事業や子供から高齢者にかけての異世代間における交流の実践等積極的に取り組んでいる。 特に、加美町宮崎地区における交流人口の拡大と地域活性化に資することを目的として、平成26年度から開催している「加美マルシェ」では、青年層中心の実行委員会を組織し、イベント企画から当日の運営等が行われ、地域商店街への誘客に貢献しているとともに、地域人材の育成や地域力向上が図られている。
10	秋田県	ゆりほんじょうしいわきこうみんかん 由利本荘市岩城公民館	岩城公民館は、旧岩城町時代の昭和41年に中央公民館として建築され、岩城町全町の社会教育・生涯学習振興に努めてきた。平成17年の市町村合併後も、市内の他館との連携を図りながら、岩城地区の拠点施設として多世代が関わることができる事業を展開してきた。 「いわき市中学生交流事業」は、福島県いわき市と旧岩城町とが親子都市の盟約を結び、親子都市調印10周年に当たる平成8年度から実施されている。29年度で21回を数えるまでとなった。地域住民の協力も得ながら、双方の中学生が主体となって交流を深めることを通して、それぞれの地域の将来を担う若い世代の郷土愛の醸成と相互理解、交流促進に大きな効果をもたらしている。
11	秋田県	かづのしとわだしみんせんたー 鹿角市十和田市民センター	十和田市民センターは、平成18年4月、鹿角市から十和田地域づくり協議会に管理運営が委託され、20年4月からは、同協議会による指定管理施設となった。同センターは、地区住民約7,000人の活動拠点として、地域のコミュニティの核となっており、地域づくり及び地域住民の生涯学習を推進している。事業は、地域づくり部、高齢者部、女性部、青少年部、文化部、体育部の六つの専門部で決定している。22年度から行っている「鹿角観光いろはカルタ」は、十和田地区に関連した観光・歴史・伝統芸能・伝説・人物・方言等を題材に地域版のカルタとして作成し、毎年開催している題材地を巡るツアー及びカルタ大会には、子供から高齢者まで多くの住民が参加している。
12	山形県	てんどうしりつやまぐちこうみんかん 天童市立山口公民館	次世代に誇れる「おらだの山口」を目指し、地域住民、地域づくり委員会などが一体となって地域づくりに取り組んでいる。青少年駅伝大会、山口まつり、山口公民館フェスティバルなどを開催し、世代間交流や生涯学習の機会の提供等、活力ある地域づくりを進めている。また、ジュニアリーダー研修会などの子供たちの体験や学びの事業にも積極的に取り組み、仲間意識や生きる力を育み、自然環境への関心を高める事業を展開している。住民の手によって地域課題を解決することを目的として組織された山口地域づくり委員会は、地域の宝を発掘し、その良さを再発見する機会の提供や地元の山岳信仰、修験の山として重要な役割を担ってきた水晶山を生かした事業など、地域を愛する心を醸成し、魅力ある地域づくりを推進する事業を公民館を拠点として積極的に行っている。
13	福島県	ふくしましすぎのめがくしゅうせんたー 福島市杉妻学習センター	福島市杉妻学習センターでは、時代の変化や地域の各年代層のニーズを的確に把握しながら、各ライフステージに応じた講座を開設している。また、地域課題の解決に向けた取組としての出前講座や市民学校を実施している。これらの講座の中でも特に、「いい街“すぎのめ”さんぽ道」は地元の「みなふく笑顔商店街」と連携した取組で、加盟店の店主等が講師を務めている。実績例「子育て応援！お母さんのマッサージュ講座(講師:接骨院)」。受講者にとって杉妻地区の新たな魅力や魅力を再発見する機会となり好評を得ている。また、商店街と地域住民との結びつきが深まり、地元の活性化にもつながっている。また、運営審議会を年6回開催し、事業計画及び事業報告を行う中で寄せられた意見・評価を事業運営に反映させている。
14	福島県	こおりやましりつしばみやちいきこうみんかん 郡山市立柴宮地域公民館	郡山市柴宮地域は、大型団地が立地する地域の特性もあり、住民の高齢化や住民相互の結びつきの希薄化及び子育て世代の就労形態の変化に伴う子供の安全・安心な居場所の確保等が課題となっており、その解決に向けて公民館が地域の拠点として、地域住民や各種団体、学校等と一体となった事業を推進している。公民館事業「ボランティアしてみ隊」は、地域の子供は地域一丸となって育てようという意識の高揚を図り、高齢者や団塊の世代が持つ多種多様な知識・技術を貴重な地域資源として捉え、地域間交流や青少年活動支援、世代間交流等の事業を積極的に展開している。また、受講修了者の地域活動を継続して支援するため、地域内のボランティアニーズの把握に努めるなど、地域振興に重要な役割を果たしている。
15	茨城県	みとしことぶきしみんせんたー 水戸市寿市民センター	当施設は、昭和54年12月1日に水戸市寿公民館として開館。平成18年4月1日から市長部局の市民センターを併設後、22年4月1日から市長部局への移管により、水戸市寿市民センターに名称変更となり、現在に至る。所管区域は、市の南部に位置し、新興住宅地と緑豊かな自然に恵まれた住みよい地域である。 当施設では、各種事業を地域の方々と一緒に積極的に取り組んでいる。中でも、春の親子サイクリング、秋のウォークラリーのほか、各種ニュースポーツ大会等を通じた健康増進へのまちづくりや、さらに寿ふれあいのつどい等を開催し、子供から高齢者までのふれあいの輪を広げ、地域の交流を推進し、生涯学習を地域全体で推進している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
16	群馬県	みどりしかさかけこうみんかん みどり市笠懸公民館	公民館の対象人口は約3万人、年間総来館者数は約9万7,000人である。 管内にある10か所の自治公民館に、区長から推薦された館長、主事(2~3人)を非常勤職員として配置し、「地区公民館」として運営している。館長、主事は、30~40代の地域の中心となる年代の人が多く、平日の夜間や休日を中心に勤務している。 「地区公民館」では、館の維持管理以外に、実際の生活に根ざした文化教養等の講座を「自主申請学級 講座」として計画し、笠懸公民館の事業の一環として実施している。一般の地域住民が、「地区公民館」の事業実施に携わることで、自主的に地域づくりを行う取組となっている。 また、公民館報の編集を公募によるボランティア9名が中心となって行っており、全国公民館連合会主催の「全国公民館報コンクール」の奨励賞を平成26年度と28年度に受賞するなど、質・量ともに優れた広報誌を発行している。
17	群馬県	しょうわむらこうみんかん 昭和村公民館	公民館の対象人口は約7,500人、年間総来館者数は約7,200人である。 特色ある事業として「わたしと家族作文発表会」事業を昭和56年から毎年実施している。村内の全児童生徒が家族をテーマに作文を書き、優秀賞受賞者は、家族や多くの村民を前に作文を発表する。義務教育の9年間、毎年家族作文を書くことで、発達段階に応じて家族関係を見つめなおす機会となっているだけでなく、発表会の開催を通して、学校・家庭・地域が一体となって家族について考えることで、村全体で家庭教育を応援する機運が醸成されている。 また、不登校や別室登校の中学生を対象に学習支援等を行う「昭和子ども未来塾」を平成29年度から実施している。地域住民が指導者となって生徒の個別の学習進度に合わせた支援を行うことで大きな成果をあげている。
18	埼玉県	さいたましりつうちのこうみんかん さいたま市立内野公民館	内野公民館は、平成26年4月に設置されたさいたま市の60館目の公民館である。公民館が無い地域であったため、開館時より公民館の基礎づくりとして「公民館の役割」を住民に周知することが必要であった。そこで、音楽室やグランドピアノの活用と、ユニバーサルデザイン対応の施設の特徴を生かしながら、年間45事業を展開し、特色ある事業として音楽をツールとした公募企画委員運営の「うちのロビーコンサート」・多世代でつながる「うちのつながる歌カフェ」「うちのフェスティバル」を「音楽でつなげるコミュニティづくり事業」として進めてきた。また、一連の事業を「うちのつながるプロジェクト」としてスタートさせ、人材の活用や地域の声を生かしながら、多様な住民と地域の活動をつなげ緩やかな地域のつながりづくりに大きく貢献している。
19	埼玉県	わらびりつきたまちこうみんかん 蕨市立北町公民館	市民体育館や児童館等を擁する北町コミュニティ・センター(昭和55年開設)を改修し、地域住民の声を設計段階から取り入れ、ふれあいの場・体力づくりの場として平成10年に設置された。複合施設という特性を生かし、健康運動指導士や児童厚生員等と連携した、「誰でも楽しく気軽に」健康づくりを学べる事業に数多く取り組んでいる。「遊びからスポーツを学ぶ」をキーワードに、青少年の基礎体力の向上や肥満防止、運動習慣の定着を図る事業を展開し、好評を博している。また、市民体育館の指定管理者の協力を得て、最新機器を用いた健康チェックや最先端の健康に関する講演会を実施するなど、市民スポーツの先駆的な事業を展開している。
20	埼玉県	ふかやしかわもとこうみんかん 深谷市川本公民館	川本公民館は、旧川本町に昭和59年に開設された公民館で、深谷市との合併により12公民館の1つとなり、深谷市川本図書館や深谷市川本出土文化財管理センターと隣接している。また、668人収容できるホールも備えられ、大規模な講演会等にも対応可能である。主な活動事業として、ふるさと子どもまつりや七夕まつり等の「世代間交流事業」、体育祭やグラウンドゴルフ大会等の「体育事業」、子育てサロンや家庭教育学等の「学級・講座」、文学歴史散歩や公民館まつり等の「文化教養事業」などがある。中でも、「世代間交流事業」は、子供から大人、高齢者までのあらゆる世代が参加し、郷土食を味わうなど、伝統文化の継承にも役立っている。
21	千葉県	きみつしこいとこうみんかん 君津市小糸公民館	昭和46年の開館以来、君津市小糸地区の社会教育の場として、住民の学びを支え、地域の実態に合わせた様々な活動を展開している。特に、婦人会等地域団体と協働しながら、地域が持つ力を育てることに重点を置いてきた。 平成13年に併設した「小糸プレイルーム」では、開設以来、利用者で組織されたプレイルーム運営委員会による主体的運営が行われている。19年以降「つどいの広場事業(プレイルーム関連事業)」により、さらなる子育て支援拠点としての発展を目指し、子供や保護者が交流する機会をもとより、高校生の育児体験の場を設けたり、福祉部局と連携したりしながら、切れ目の無い子育て支援に取り組んでいる。これらの活動は家庭教育学級等とのつながりを生み、蓄積した関係性の上に、新たな活動団体が発足するなど住民自治の力を高める場となっている。
22	千葉県	いちはらしりつやわたこうみんかん 市原市立八幡公民館	八幡公民館は、昭和23年に千葉県下2番目の公民館として、戦後復興と町づくり、人づくりを旗印に開館した。当時の八幡町を代表するシンボルであり、地域住民の生活改善のための施設としてリーダー的な役割を果たし、24年11月第2回全国優良公民館表彰を受賞した。その後、47年に八幡中学校の跡地である現在の地に新築移転、さらに、61年には体育室等を増築し、平成30年に創立70周年を迎えた。 かつて八幡は、水陸交通の要衝として発達した歴史文化の町である。「八幡史学館」事業の内容は、郷土の歴史資料を掘り起こし、その背景を学ぶことにより、地域への理解と愛着を深めることを目的としており、平成18年度から実施している事業である。歴史ある町の資料等豊富で貴重なものが多く、内容も充実している。毎年参加希望者が多く、受講者の「学びたい」という意識が高く、ニーズに応えられるように企画している。地域の活性化を図るとともに上記事業に代表されるような、様々な講座の充実を図り、よりよい公民館活動を目指している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
23	神奈川県	ひらつかしりつすかこうみんかん 平塚市立須賀公民館	須賀公民館は平塚市第1号の公民館として開館し、平成30年1月15日で開館60年を迎えた。そして、これまでの公民館活動が評価され29年度に神奈川県優良公民館表彰を受けた。 須賀公民館の位置する港地区は古くから漁業が盛んな地域であることから、特色ある公民館事業として「親子でさばき教室」を実施し、地元で水揚げされた魚をさばき、口にすることで地産地消を親子で体験した。 また、平成30年度は新規事業の「ビーチde地曳網体験と魚さばき体験」として、かつて港地区で行われていた漁法を体験し、平塚の海の魅力を体感するプログラムを実施した。 さらに、地域の自然環境の保護を目的として漁港周辺の河口を清掃する「相模川クリーンキャンペーン」を自治会及び地域企業とともに長年実施している。 このように、須賀公民館では地域資源と地域人材を活用した公民館事業を展開し、地域を誇りに思う環境づくりと次世代の地域の担い手の育成に力を入れている。
24	神奈川県	かわさきしなかはらしみんかん 川崎市中原市民館	中原市民館は平成21年に現在の場所へ移転(前身の「中原公民館」は昭和28年開館)し、中原区小杉周辺の再開発が進む地域において、民間開発事業による高層マンションの一角を公共施設として区分所有する方法により、「かわさき市民活動センター」と一体的に整備され、平成30年で開館から10年を迎えた。 中原市民館は、鉄道3路線が交差し、バスターミナルを有する武蔵小杉駅に近いことから、多くの市民に利用されている。社会教育振興事業については、識字学習者、障がい者社会参加活動の参加者、その他講座への参加者も多く、これらを支援する市民ボランティアの活動も盛んである。 本市の市民館は平成22年度から管理運営を区役所に移管し、社会教育振興事業については補助執行により実施している。中原市民館は区役所各課と密接に連携し、中原区内の生涯学習支援拠点として、市民の「学び」を市民活動につなげるための支援について積極的に展開している。
25	新潟県	にいがたしこばりあおやまこうみんかん 新潟市小針青山公民館	新潟市西区の4館ある地区公民館の一つとして、他地域同様、少子高齢化が進んでいるという地域課題を踏まえ、平成28年から高齢者の居場所づくり等を目的として、「西新潟オープンカレッジ」を実施。市民で構成される西新潟オープンカレッジスタッフが主体となって事業を企画・運営しており、住民参加型の事業となっている。 また、地域のコミュニティ協議会、人権擁護委員等と連携し、地域行事や地域課題に取り組む講座を継続的に実施している。 さらに、平成23年から発達障がい児家庭教育学級「発達障がい児を支える」の実施や、障がい者の参加する講座においては手話奉仕員の配置、家庭教育学級では保育付き事業の実施等、誰もが学習できる環境づくりに努めている。
26	新潟県	せきかわむらこうみんかん 関川村公民館	村唯一の公民館として、あらゆる年代を事業の対象とし、幅広い団体やボランティアと連携して事業を行っている。 住民の半数以上が参加したスポーツイベント「関川村チャレンジデー」は村の住民福祉課と連携し、子育て中の保護者向けの「ペアレント・トレーニング講座」はNPO法人と連携して実施した。そのほかにも、小学校と連携した「郷土学習会・観光ボランティアガイド」事業や保・小・中と連携した「せきかわ冒険王」等を実施している。 また、村内小学生が4泊5日で100kmを歩き、地域の自然・ひと・ものに触れる機会を提供する「関川村子どもチャレンジ100」では、近隣大学の学生、自衛隊員、山形県小国町の探検ガイド等がボランティアスタッフとして参加している。
27	富山県	うおづしかづみこうみんかん 魚津市加積公民館	加積公民館では地域振興会や学校、PTA等他団体と連携しながら、地域の特産品である「加積りんご」をテーマとした事業を企画し、子供たちに対するふるさと教育を行うとともに、地域住民のニーズに合った異世代交流事業や生涯学習教室等を行い、地域住民の絆(きずな)を深め、地域の活性化を図っている。 【土曜日の豊かな教育活動推進事業「りんご体験教室」】 りんご栽培の花摘みから収穫まで一連の体験学習や収穫したりんごを使った料理教室を行い、また栽培者や県の果樹研究センターの方から「加積りんご」の歴史や栽培方法について学ぶことにより、ふるさとの歴史と自然の豊かさ、収穫の喜びを子供たちに伝えている。
28	富山県	なんとしみなみやまだこうみんかん 南砺市南山田公民館	南山田公民館の主な事業は、自治振興会、スポーツ振興会、保育園等の関係機関と連携して行っている。地区住民を対象に南山田フェスティバル ウォーキング大会を開催し、ウォーキングを通して健康の保持増進と楽しく取り組むことを目的に多くの方が参加しており、地域づくりに大きく貢献している。また、子供たちを対象に地元の伝統行事である「城端むぎや祭り」に出演することを目的として、他の公民館と連携し練習会を行い、祭り当日は各会場に出演するなど、参加・体験を通して、地域への愛着を深め、伝統行事の継承に努めている。また、「わんぱく塾」を開設し、地域の子供たちを対象にガーデニング・マナー・写生会・おにぎりづくり等の教室や体験会を行うことで、子供たちの学校外での学習活動に大きく貢献している。
29	石川県	はくさんしりつみなとこうみんかん 白山市立湊公民館	湊地区は手取川の河口左岸に位置し、中世から近世にかけては日本海運の要港として栄えた町である。地区内には、保育園や小学校等の教育施設のほか、日本の渚百選にも選ばれた小舞子海水浴場や松尾芭蕉の句碑等、名所・史跡も存在する。 このような地区にあって湊公民館は、体験型の行事を通して子供の成長を地域全体で見守る取り組みを実施している。特に「湊ふれあい通学合宿」は、地域の様々な団体の連携・協力を得て実施されている。ボランティアと交流することで子供たちがボランティアに関心を持ち、合宿後に新たに地域でボランティア活動を始める子供が増え、子供の成長とともに事業の成果が地域に還元されている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
30	石川県	のとちようりつさんなみこうみんかん 能登町立三波公民館	三波地区は、能登半島の北東部に位置し、世界農業遺産「能登の里山里海」の評価点の1つである「日本の原風景」を有する地区である。山と海が近接する半農半漁の集落であるが、地区内にある3つの集落(藤波・波並・矢波)すべてに漁港が存在しており、古くから定置網漁が盛んに行われている地域である。 三波公民館では、豊かな自然を生かした体験活動を通して郷土愛を育むことを目的として、様々な事業を実施している。特に、年に数回、定置網にクジラがかかることから、クジラに縁の深い地域として学習会や交流会を開催している。海と密接な関係を持つ地域ならではの独自文化を住民が学ぶことで、郷土愛を育むことを目的としている。
31	福井県	えちぜんしおかもところみんかん 越前市岡本公民館	高齢化が進む地域の中で、どの世代の住民も生き生きと、学び、集い、そして同世代の仲間も異世代の住民同士も、お互いにつながることを目指し、地域コミュニティの拠点として大きく貢献している公民館である。「地域のために自らで何かしたい」という青年の要望に応え、青年グループ「なう すたんど」の立ち上げに大きく携わり、青年らが地域の特別事業の企画・運営を担い、主体的な活動が行えるよう、公民館としての支援に力を注いでいる。「なう すたんど」の地域事業への参画が、様々な世代との交流を生み、地域の一体化、活性化へとつながっている。特に「おかもとイルミフェスタ」は「なう すたんど」を中心に、地域住民みんなで盛り上げる大きなイベントとなった。さらに県連合青年団や他地区の青年グループとの連携活動にも公民館が大きく関わっている。
32	福井県	ふくいししみずにしこうみんかん 福井市清水西公民館	清水西公民館区は、平成18年の市町村合併により誕生して12年目、公民館が建設されてからは9年目の比較的新しい地区で、里山地域に古くからある集落と昭和・平成に造成された団地が混在するため、住民同士のつながりが希薄になりがちな条件を有する地区である。そのような難しい背景にある中、清水西公民館は、住民一人一人が「ともに響きあうまちづくり」をすすめる拠点となることを基本方針とし、事業を実施している。その内容は、地域住民のつながりを深め、地域にある文化を再発見すること、地域課題を見据えた各種の学びを通じて、参加者や住民のつながりの強化を目指すものとなっている。その姿勢・活動内容は、これからの公民館事業の在り方の模範を示し、地域コミュニティの更なる活性化に大きく寄与するものである。
33	長野県	ながのしりついまいこうみんかん 長野市立芋井公民館	芋井公民館は、長野市の中心から北西に位置し、霊山飯縄山と裾花川に抱かれた中山間地の芋井地区にある。世帯数は約970世帯、人口2,200名余りで四季折々の自然豊かな環境の中で公民館活動を行っている。活動は地域との関わりを心掛け、地元の食材や伝統食を取り上げるほか、ホタルの育成環境の勉強会や観賞会等、地域の子供から大人まで多くの人々が学べる環境を整えている。また地区に多く残る史跡や地区の名所を巡りながら歴史や文化の継承にも取り組んでいる。公民館が中心となり地区の神社にある「算額」「俳額」等の復元も積極的に行い、郷土への愛着心と誇りを養うなど、魅力ある地域づくりに取り組んでいる。
34	岐阜県	みずなみしかまどころみんかん 瑞浪市釜戸公民館	少子高齢化が進む地域の中で、「まちづくりの中の公民館」という位置づけを明確にし、事業を展開しており、「子ども寺子屋教室」や「太鼓グループの活動」では、世代間交流を通して、地域の絆(きずな)を強めることに寄与している。また、高齢者を対象とした「出前健康サロン」では、学びを生かす場を創設し、住民の生きがいづくりに貢献している。住民のニーズと共に地域課題も的確に把握し、学校や自主グループ等と連携を図りながら、それに応える事業を企画・運営していく中で、住民の事業への主体的な参画と、地域を支える人材の育成を実現している。
35	岐阜県	たじみしこいずみこうみんかん 多治見市小泉公民館	旧家や史跡が多く残り、歴史が感じられるまちに、転入者が増加している地域の現状を捉え、全ての住民が地域の魅力と郷土のぬくもりを感じられる住みよいまちを求めて「文化と人の新旧交流事業」を展開しており、地域課題の解決に向けて学習活動を組織する公民館の役割を果たしている。小泉活性化委員会との共催事業や地域団体・諸機関と連携した協働事業を精力的に実施し、中でも「小泉探訪ウォーキング」は、地域の自然・歴史・文化の諸資源をうまく生かした事業となっている。活性化委員会の評価等を活用し、改善しながら事業を継続する中で、地域に定着する事業を生み出している。
36	静岡県	いわたしたはらこうりゅうせんたー 磐田市田原交流センター	磐田市田原交流センターは、里山の自然に囲まれた地域であるとともに、区画整理による新興住宅の住民が多い地域で、自然環境を生かしながら「地域住民の交流による顔の見えるまちづくり」を積極的に展開している。 田原地域づくり協議会という地域の団体を横につなげた組織のもと、近隣の幼稚園、小学校、中学校との強い協力関係を持ちながら、地域づくり、人づくりに取り組んでいる。 水車づくりや竹を利用したベンチ製作等自然環境を生かした取組や新興住宅地に住む核家族世帯を地域の高齢者が支援するサロン活動を実施している。 その他、社会福祉への取組や、よりよいセンターを目指し他県の公民館との交流を実施している。
37	愛知県	こうたちょうちゅうおうこうみんかん 幸田町中央公民館	幸田町中央公民館では、全年齢層の町民に対して、生涯を通じていつでも自由に学習機会を選択して学習できる環境を整えることを念頭に事業を推進している。幸田町文化協会会員や地域で活動する団体等から講師を選定し、講座の受講後も継続して生きがいづくりや仲間づくりができるよう配慮している。「生涯学習ガイドブック」の発行や「広報こうた」等で情報を発信し、より多くの人々が参加できるよう工夫している。また、必要に応じて託児を実施し、小さなお子さんがいるお父さん、お母さんにも安心して講座に参加しやすい環境づくりに努めている。また、公民館エントランスを利用して、おひなさまや端午の節句等の季節展示や各種団体の作品展示等を実施し、講座以外でも多くの人に来館してもらえるよう工夫している。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
38	愛知県	あいさいしきおりのこみんかん 愛西市佐織公民館	愛西市佐織公民館では、市及び館主催の事業(教室・講座)の開催のほか、地域住民の会合や多様なクラブ活動で多くの方に利用されている。毎年実施される「ジュニアコンサート」は、市内3中学校の協力を得て行っており、大変盛況で市の一大イベントとなっている。また、平成29年度は、市内の小学生が調査したレポートをもとに、「愛西市の謎を解き明かせ！地名探偵～時空をこえた迷子～」を実施するなど地域に根差した事業を展開した。このほかにも、観光協会等他機関との連携企画も実施し、親子教室や子どもチャレンジ講座等子供から大人まで学習機会を提供し、地域の文化の拠点としての役割を担っている。
39	滋賀県	おおつりつまのきたこうみんかん 大津市立真野北公民館	真野北学区は大津市の西北部地域に位置し、公民館付近は新興住宅地であるが、歴史遺産でもある「曼荼羅山古墳群」が点在し、比良の山並みや琵琶湖等も望むことができる。歴史と自然に恵まれた地域である。公民館を拠点とした自治会活動やサークル活動が盛んで、住民自らの手で地域課題の解決に取り組んでいる。その中で、「地域の子供は、地域で守りましょう」を合言葉に活動する「真野北学区土日対策実行委員会」の協力の下、子供たちの豊かな人間性や生きる力を育む「まのきたっ子ワクワク広場」を継続して開催している。この事業では、地域の大人が常に子供たちと関わっており、地域人材の活用にとどまらず、地域社会と子供たちの関係を深められる点で、次代のまちづくりの担い手育成についても期待されることから、他の公民館の模範となっている。
40	京都府	あやべしものべこうみんかん 綾部市物部公民館	「誰もが住みたい！住み続けたい！物部」にするため、まず集い、学び合い、そしてつながり合う」を目標に地域住民の絆(きずな)づくりや学校、家庭及び地域の連携した取組を進めている。毎月15日の「一斉声かけの日」をはじめ、地域内の小学校等とは日常的に連携した取組を行い、学校行事や公民館行事においても相互協力体制ができています。また、各種地域団体と連携し、季節ごとに「春・夏・冬まつり」や「音楽祭」を開催し、地域の高齢者から子供までが共に楽しみ世代間交流が図れるよう工夫を行っている。さらに、公民館報のほか、ウェブサイトやfacebookも活用し、地域内外に公民館活動をはじめとする地域の取組を積極的に情報発信している。
41	京都府	きょうたんごしおおみやちいきこうみんかん 京丹後市大宮地域公民館	京丹後市は、高齢化率が高く100歳以上の人口の割合が全国平均より高い地域である。京丹後市高齢者大学「大宮学園」を開講し、公民館で各種講座を開き、高齢者が生きがいを持って生活できるような環境づくりを進めている。また、子育て支援センター等に協力を得ながら、子育て交流会や高校生と赤ちゃんのふれあい交流事業等の家庭教育支援事業を行っている。さらに、外国人観光客や外国人労働者の雇用等国際化が進みつつある中、子ども体験事業として「ハロウィン」や京丹後市青少年健全育成会と共催し「英語で遊ぼう」等国際色のある活動も行っており、学習活動の拠点、人々がまなび、集う公民館本来の活動の拠点としての役割を担い活発な活動を行っている。
42	兵庫県	かこがわりつひらおかこうみんかん 加古川市立平岡公民館	当該館では、子供の学習支援や居場所づくりに重点を置いた「ひらこうジュニアカレッジ」を通年で開講している。これらは、公民館登録団体や、高齢者大学・同OB会等の公民館利用者がボランティアとして参画し、講師となるボランティアが公民館活動等を通して得た知識や技能の学習成果を活用して子供たちに伝える「学びの循環」の場として機能している。また、高齢者大学では、教養を高めるだけでなく、地域貢献活動を実践するために役立つ内容を実施している。年間25回の講座では、地域活動だけではなく、心身が健康で歳を重ねるために必要だと考えられる内容を充実させている。これらの取組を通じ、更に学びを深める生涯学習を推進し、学びと実践の一体化を図っており、地域の社会教育の場として大きく寄与している。
43	奈良県	ならしりつけいせいこうみんかん 奈良市立京西公民館	(公財)奈良市生涯学習財団が指定管理者として管理・運営を行っている施設。同財団は、職員の持つ社会教育・生涯学習に関する専門的な知識・経験(社会教育主事等)を生かし、多彩な事業を実施している。京西公民館は、西の京丘陵上の赤膚山近くにある住宅地に囲まれた地区公民館で、年間約1万4,000人余りの方が学習活動を行っている。利用者の固定化・高齢化が解決すべき課題であり、新規利用者や自主グループを増やしていくために、気軽に参加できる体操講座「リフレッシュサロン」を平成28年度から開催している。講座終了後に茶話会を実施し、そこで出た意見を元に新たな自主グループ(ヨガ・手芸・卓球)が結成されるなど、「リフレッシュサロン」を契機とした働きかけが着実に実を結んでいる。また、参加者が「けいせい公民館まつり」の運営に関わるなど、活動の輪が広がっている。
44	鳥取県	くらよししかみほうじょうこうみんかん 倉吉市上北条公民館	地域の担い手不足解消に向け、地域リーダーの育成という明確な目標を設定し、「青少年の頃から地域の大人との関わりを通して地域に誇りと愛着を持つこと」「自ら考え行動できる力を身に付けること」が重要と捉え、将来の地域リーダーの育成を狙って「上北条ゲームリーダー」制度を考案した。公民館の主な活動として、上北条ゲームリーダーの認定(小学校4,5,6年生の児童)・養成と上北条まつりでアナログゲームブースを企画運営、主催事業としてダンボール迷路、地区外へ出張し小学生にアナログゲームの提供及び交流、地域PR動画の製作等、地域資源を生かし、地域の大人や高校生等様々な人と関わりながら、地域を担うリーダーを育成している。地域住民にもこのゲームリーダー活動が周知され、地域行事への参画も定着しており、この取組を通じて、子ども会や学校でもリーダーシップを発揮できるようになるなどリーダーとしての人材育成が図られ、地域行事に参加したいという意欲へとつながっている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
45	鳥取県	とっとりしりつきゅうしょうちくこうみんかん 鳥取市立久松地区公民館	地区全体で人口減少、中でも、若い世代の人口減少が進んでおり、その課題解決に向けた事業を展開している。地域や保護者の方とのふれあいや地域の良さを生かした体験を重視し、子どもたちにとって印象深く、久松地区の良さを感ずることができるよう事業内容を工夫している。主な活動として、県国際交流員のロシア人講師による「マトリョーシカの絵付け」やさじアストロパーク・天文協会から講師を招いて「星を見る会」等公民館単独で実施している事業が年間7事業ある。また、「地引網」や昔ながらの杵と臼を使っている「もちつき大会」等、地域の様々な団体等と連携して実施する共催事業も年間10事業行っており、子どもたちが地域の大人と関わりながら意欲的に学んでいる。地区の小中学生の人数は減少傾向であるにもかかわらず、事業への参加者は少しずつ増え、中でも保護者の参加が増えており、地域が一つになって地域社会全体で子どもを育てていく体制が整っている。
46	島根県	はまだしりつこくふうみんかん 浜田市立国府公民館	今まで公民館活動に参加するだけであった地域住民が、公民館の学びをきっかけにして、地域にある豊富な資源を活用した地域ブランドづくり、国府の海や川の水質等の環境整備、観光客の増加につながる取組を行った。地域のよさや地域課題について考える機会を提供し、公民館活動に参画する地域住民を増やしており、今後も地域づくりの拠点としての期待が高まっている。 地域の小学校・中学校・県立学校との連携を図り、学習の狙いを学校と共有しながら、地域人材の活躍できる場を設定している。活動の様子を公民館便りで積極的に情報発信するなど、地域と学校が一体となって地域に愛着をもつ児童生徒を育てていこうとする気運の醸成を図っている。
47	島根県	まつえしやつかこうみんかん 松江市八束公民館	公民館が設立した地域の伝統芸能「島芝翫節(しましかんぶし)」保存会を中心にして、小学生から大人まで多くの住民が伝統芸能の継承を行っている。保存会の活動を通して、地域住民が地元への愛着を深めるとともに、多世代の交流が生まれ地域の連帯意識の向上につながっている。 地域住民が気軽に集い、語ることができる憩いの場として図書スペースの整備に力を入れている。住民の意見や要望を聞き、学習要求を高めるよう図書の種類や配置に気を配っている。 高齢者や自家用車がない方も気軽に公民館を利用できるように町内を循環する地域コミュニティバスの時刻やルートを検討し、公民館で行われる会議や事業をバス時刻に合わせ、地域の方が公共機関で出かけやすい工夫を行った。
48	岡山県	はやしまちょうちゅうおうこうみんかん 早島町中央公民館	早島町は、政令指定都市の岡山市と中核市の倉敷市に隣接し、いわゆるベッドタウンの役割を任う自治体である。早島町中央公民館は、計画的・継続的に、様々な大人向けの講座を実施しており、総称して「はやしま学『まなびの舎』講座」と呼んでいる。 「まなびの舎」講座は、住民のニーズの高い「健康」「歴史」「ESD(ふるさと)」の3領域・全31講座から構成している。講座にはそれぞれ単位が設けられており、取得単位数により認定証が授与され、講師育成の一助となっている。また、そのほかにも、約1か月間開催される「生涯学習まつり」や、ボルダリング、スラックライン等のスポーツ、小・中学生対象の英会話塾やロゲイニング講座等、多くの講座・イベントの実績がある。
49	岡山県	おかやましりつみつこうみんかん 岡山市立御津公民館	岡山市御津地区には県営・市営工業団地があり、多くの外国人労働者が雇用されている。外国人を雇用している企業への聞き取り調査を行ったところ、コミュニケーションの取り方に苦慮している実態がみられ、外国人が日本語を学べる「日本語教室」を開講し、平成30年で9年目を迎える。この講座を公民館で行うことにより、外国人と地域住民との交流が少しずつ増え、日本語だけでなく、御津町音頭の手ほどきや浴衣の着付け等、日本文化にも触れる機会が生まれてきた。 一方で、地域住民が外国の衣服や食について、日本語教室に参加している外国人から学ぶ機会も生まれ、この双方向の刺激により、特色ある事業「多文化カフェ」へと発展している。
50	広島県	ひろしましふるたこうみんかん 広島市古田公民館	本公民館は、昭和63年に開設。高齢化率19.0%、年少人口15.3%と、広島市では比較的世代間の均衡がとれたエリア特性がある(広島市全体ではそれぞれ24.6%、13.9%。平成30年3月末現在)。地域から愛され、地域と共に成長する公民館を目指し、住民が集い、学びあい、結びあう場となるよう、年間400回を超える活動・事業を展開している。 このまちに誇りたいプロジェクトは、古田中学校の生徒と古田地区住民が一緒になって、30年後の地域の暮らしを考え、行動するため、平成25年度に立ち上げた事業として行っている。中学生の発案で「みんなが幸せに使える公園」をテーマにワークショップをしたり体験イベントを実施したりするなど、公民館が多世代の居場所づくりの拠点となり地域住民の絆(きずな)が深まっている。
51	広島県	おのみちしむかいひがしこうみんかん 尾道市向東公民館	本公民館は、旧公民館の老朽化に伴い、平成2年1月に尾道勤労者総合福祉センター(サンボル尾道)として建設された建物に移転した。高齢化率37%と高い地域であるが、家庭教育支援団体「親ぢから」や、NPO「おのみち寺子屋」等活発に活動している社会教育関係団体があり、公民館のコーディネートで様々な事業を実施している。 防災フェアin向東!は、「地域を繋ぐ」をコンセプトに、消防団、民生委員会、公衆衛生協議会、保健推進委員会、体育協会等、16団体の協力を得て「防災フェア」を実施。全5回の打ち合せを通して地域団体のつながりを深め、郷土愛の育成や地域への愛着心の醸成を図っている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
52	広島県	はつかいちしくしどしみんせんたー 廿日市市串戸市民センター	本市民センターは、昭和57年4月に公民館として開館。平成20年4月に市民センターに名称を変更し、生涯学習及びまちづくりの拠点となった。若い世代の移住者が多い地域で、幼年人口は増加しているが、29年度の町内会加入率が59.9%（廿日市市全体の加入率は74.7%）と低く、地域交流が弱いという課題がある。そこで、地域住民の交流を促進し、地域の課題解決に貢献するために、「ぼくのまちわたしのまちプロジェクト」を実施している。 「ぼくのまちわたしのまちプロジェクト」は、地域の資源(伝統、施設や団体、商店街を含む)を活用し、若い世代の利用を増やすことを目的とした事業である。「串戸のピースを発見しよう」「けん玉の広場」等、子供と地域住民が関わり、気づきや学びを深めるイベントをすることで、市民センターを拠点とした地域住民の交流が促進され、地域への愛着が育まれている。
53	山口県	はぎしあきらぎこうみんかん 萩市明木公民館	地域の大人、子供たちが夏季休業中にみんなで昼ご飯を食べる「みんなで食べよう！昼ごはん」という事業を展開し、地域でのふれあいを深めるとともに、子供たちの安心安全の確保にも努めている。また、地域ニーズに基づいた講座を数多く開けるように講師を地域人材から探すことで、継続的な講座の開設につながり、住民のスキルアップにもつながっている。季節感を演出する展示や住民参加型の展示コーナーを設けることで、来館者が当事者意識をもって施設を活用するとともに、様々な行事に積極的に関わることで、地域の社会教育推進の中心的な施設としての役割を果たしている。
54	山口県	やないしおおばたけこうみんかん 柳井市大畠公民館	地域の偉人を題材にした講座を地域の団体と協働して実施することで、地域の歴史等を見直す気運が高まり、その流れは大畠地区だけでなく、柳井市全体にも波及している。各種講座では、学習を終えた受講生が次回以降の講座の準備等に積極的に関わるとともに、新規受講生の参加促進や支援を継続的に行うことで、学びの循環につながっている。また、様々な地域団体と連携することで、学びのネットワークを広げている。さらに、各種講座についての意見を聞いたり、公民館職員が一参加者となり、教室や講座に参加したりすることで、常に新しい視点を加えた活動を展開している。地域の全ての人が活用できる公民館として積極的に事業を展開している。
55	山口県	しゅうなんしたかみずしみんせんたー 周南市高水市民センター	地域行事では、地域の諸団体と連携を図りながら協議を重ね、行事が前年踏襲型にならないように努めている。公民館だよりやウェブサイトで、活動団体紹介や行事予定、事業報告を掲載し、地域住民が公民館活動に関心をもてるように工夫している。小学校4年生を対象にし、4泊5日の共同生活を行う通学合宿を、地域全体の協力で開催している。この通学合宿で、子供たちの成長だけでなく、保護者が地域とのつながりや家庭教育について考えるようになり、地域の絆(きずな)が深まり、ボランティア活動への参加意識が高まるなど、教育に対する関心・意欲の地域全体での高まりにつながっている。
56	徳島県	あなんしりつなかがわこうみんかん 阿南市立那賀川公民館	阿南市立那賀川公民館は、地域における社会教育の拠点として、また、地域住民の交流の場として、住民や各種団体と協力しながら、地域の活性化に取り組んでいる。 特に、高齢者ふれあい会食事業に力を注いでおり、会食を通じて、高齢者の健康づくりと仲間づくりが活発に行われている。高齢者同士が、互いに会話や食事を楽しみ、交流することによって、それぞれの日常生活における悩み事等を共有し、孤独感の解消や健康増進につなげることを目的としており、地域のつながりや地域力の向上に大きな成果を挙げている。
57	愛媛県	やわたはましりつかわかみちこうみんかん 八幡浜市立川上地区公民館	人口、世帯数共に年々減少し、少子高齢化が進んでいる地区であるが、隣接の保育園や小学校との連携及び2つの自治館との協働による活動が盛んで、地域住民の集う場としての機能を十分に発揮している。また、地域コミュニティを持続するために、地域における公民館の担うべき役割について住民とともに審議し、事業に反映する仕組みを整えている。 特長ある活動としては、地域の自然環境や産物等の特長を生かし、多くの住民が一堂に会するイベントを年に3回実施しており、住民同士の交流や地域外の住民とのふれあいによる「にぎわい創出」「地域活性化」の拠点としての役割を果たしている。さらに、農繁期に公民館の一部を開放して、小学生等を対象とした昔の遊び教室等を実施し、安全な居場所づくりと高齢者の生きがいづくりに一役買っている。
58	愛媛県	にいほましりつふなきこうみんかん 新居浜市立船木公民館	船木校区地域教育力向上プロジェクト推進事業では、人権問題や地域防災・減災、環境保全についての学習と実践を繰り返し、地域課題の解決や住民の自治意識の向上に成果を上げているほか、伝統文化の継承活動や健康づくり活動、夏祭り等の活動を行い、世代間交流を通じて、地域内の多世代の連帯意識高揚を図っている。また、子ども教室やクッキング教室、地域づくり講座等を実施し、地域住民の学習の成果、知識、技能をボランティアや地域づくりに生かすことのできる仕組みを整え、支援している。 地域学校協働活動の取組として、地域の小中学校の学校運営協議会の一員として、小中学生の長期休業中の学習会の開催やボランティアスタッフ募集に尽力しているほか、地域の花づくり運動を小中学生と一緒にいるなど、学校との連携・協働を推進している。
59	福岡県	あさくらしたていしこみゆにていせんたー 朝倉市立石コミュニティセンター	立石コミュニティセンターでは、事業の企画立案時点から参加者が主体的に関わることでできる仕組みを作っているため、様々な事業を実施する際に、参加者同士の連携が生まれ、新たな活動へと発展している。 特に、子育て支援を地域課題として捉え、子供の生活技能の向上や学習習慣の定着が「親と子の自立」につながるのと考えるから、7泊8日の通学合宿を実施している。毎年活動内容を精査・改善し、地域の支援者から指導を受ける部分と自力でやり抜く部分とを明確にしたプログラムの工夫により、社会性や自立心の向上に役立っている。このように、コミュニティセンターを核とした住民主体の活動や狙いを明確にした取組、住民の声を生かした事業の推進等により、持続可能な取組が実施されている。

No.	都道府県名	(ふりがな) 公民館名	公民館の概要
60	佐賀県	さがしりつかいせいこうみんかん 佐賀市立開成公民館	開成地区は、佐賀市の中では新しい町であるため、公民館では地域住民の子供達が愛着を持てる故郷となる地域にしたいという思いを共有しながら、大人から子供までが一体となって活動し交流できる機会を作っている。例えば、「さが学講座」で受講者が郷土自慢をテーマに製作したオブジェを「開成ライトファンタジー」の会場で展示している。また、ライトファンタジー期間中に開催される小学生主体のクリスマスイベントでは、「中学星サタ」のプレゼント配布と「男の料理教室」受講生の料理の振舞いがある。このように講座や行事が一過性のもので終わらないよう相互に結び付け、参加者同士の交流が生まれるよう意識して取り組み、新たな地域交流の創出や人材発掘に生かしている。また、それらをきっかけに公民館に注目してくれる地域団体も出てきているので、対話を重ねながら共催を呼びかけ、さらなる連携につなげている。
61	大分県	うさこうみんかん 宇佐公民館	宇佐公民館は、「生きがいのあるくらしやすい地域、生涯学習の創造」を運営基本方針に掲げて自主的、自発的な意思に基づいた活動を展開している。地域の課題解決に向けた主な活動として、婦人学級や高齢者学級を実施するとともに、学校や地域団体(地区青少年健全育成協議会等)との連携を図るなど、地域住民の学習拠点としての機能を果たしている。特徴的な取り組みとして、地域の伝統文化の継承と地域への愛着の希薄化が課題となる中、公民館が主催する婦人学級の受講生が「宇佐小唄を踊る会」と連携して、地域の伝統文化の盆踊りである「宇佐小唄」を継承し、次世代へとつなぐ活動を進めている。また、食育改善推進団体「北馬城地区ヘルスマイト」とタイアップして、市内小中学校等へ赴き、子供たちと一緒に調理をして、郷土料理を含めた食文化を伝承するなど、公民館活動の成果を地域へ還元している。
62	宮崎県	みやこのじょうしなごうちくこうみんかん 都城市中郷地区公民館	中郷地区公民館は地域の自治公民館連絡協議会、民生委員・児童委員連絡協議会、地区社会福祉協議会、地区高齢者クラブ連絡協議会、壮青年連絡協議会等多くの組織・団体と連携を図りながら、地域住民の学習活動支援や地域の課題解決に資する活動を工夫しながら継続して行い、自己評価に基づき世代や性別に合った学習及び事業を実施している。また、地区内の高齢化率が高いことから、「中郷地区高齢者いきいき学級」を開級し、足腰を鍛える「こけないからだづくり講座」や、食生活改善推進員による「料理教室」等、高齢者が知りたい、学びたい情報を楽しみながら得ることができる講座を実施するなど、高齢期にふさわしい社会的な力を培うとともに、孤立化防止にも努めている。
63	鹿児島県	きりしましはやとまつながちくこうみんかん 霧島市隼人松永地区公民館	隼人松永地区公民館は、平成17年11月霧島市誕生以前から、旧隼人町の公民館分館として生涯学習の場、情報発信の拠点等の役割を果たしてきた。市町合併後もその役割を維持しながら、生涯学習推進の場であるとともに地域住民集いの場として多くの人々に親しまれ、多様な活動に活用されている。 少子高齢化、核家族化が進み、地域内の連携が徐々に薄れていく昨今、本公民館では、地域ぐるみで青少年の健全育成を目指すとともに、高齢者が地域でいきいきと活動しながら暮らしていくために、公民館教室を開設している。具体的には、子供や保護者を対象とした「わらべうた教室」、成人を対象とした「ふれあいグラウンドゴルフ大会」、地区住民全員を対象とした「ふるさと松永夏祭り」等、様々な世代の住民が参加できる教室や行事を開催している。
64	鹿児島県	あくねしちゅうおうこうみんかん 阿久根市中央公民館	阿久根市中央公民館では、「阿久根市民憲章」に定める心豊かで住みよいまちづくりを進めるために、各種の青少年教育事業、高齢者や女性の学習機会の確保、公民館講座等の学習機会を通じた生涯学習を推進している。 本館では、多様な利用者の参加促進を図るため、地区公民館や市内類似施設等を利用して、地域に根ざした学習や、生活向上の諸事業を展開している。 学習講座の運営方針については、事業終了後のアンケート結果を分析し、見直しを図り、講座運営についての工夫改善に努めている。同様に青少年の体験活動や「生涯学習フェア」等の工夫・改善を図っている。 永年多くの市民に愛されてきた阿久根市中央公民館は、平成30年度、建て替えにより市民交流センターとしてリニューアルし、新たな生涯学習の拠点となる計画である。
65	鹿児島県	かのやしにしはらちくがくしゅうせんたー 鹿屋市西原地区学習センター	開館以来、生涯学習講座や同好会の支援、生涯スポーツの普及活動を推進し、地域住民の生きがいづくりや仲間づくり、健康づくりの機会を提供するとともに、潤いと活力ある地域づくりに寄与している。 地域コミュニティーの活性化などに重点を置いた講座「ふるさと探訪」では、郷土の魅力を再発見するとともに地域住民の絆(きずな)を深め、子供の健全育成等に重点を置いた講座「子ども絵画教室、やさしい科学教室」なども開設している。また、地域ぐるみで学校を支援する学校応援団や生涯学習推進協議会の事務局も兼ねており、学校と地域をつなぐ役割も担っている。 「出会ううれしさ 学ぶ楽しさ できた喜び 広げよう学びの輪」をキャッチフレーズに掲げ、市民に親しみやすい施設運営を目指し、平成29年度の利用者は3万人を超えている。